

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-115)、  
廃棄物管理施設(90)、MOX燃料加工施設(2-73))」

2. 日時：令和5年11月2日(木) 13時30分～15時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任  
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審  
査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他6名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの当日提出資料に基  
づき、今後の進め方について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・設備の構造設計等については、MOX施設の説明内容の精査を次回審査会合  
に向けて進めるとともに、再処理施設の説明内容の整理を進めるなかで明  
らかになった視点や明確にすべき手順を作成ガイドへ反映しつつ作業を  
進める。また、評価については、基本設計方針を元に評価を行う項目やそ  
の目的を整理して改めて説明する。
- ・重大事故等対処設備の設計に係る要求事項については、設計基準対象施設  
の要求事項との関係を明確にするよう引き続き体系的に整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

## 「今後の進め方」

### 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	ました。
0:00:02	規制庁のカミデです。それではただいまより、日本原燃とのヒアリング
0:00:07	を行います。本日のヒアリングは、令和4年12月26日付、
0:00:13	再処理施設及び管理施設の設工認、また、令和5年、
0:00:18	2月以上
0:00:20	MOX施設の布設工事に対して、本日、提出のあった資料をもとに、事実確認を行うものです。
0:00:29	では、規制庁側の主
0:00:31	の補助オガワ会議室より、アライ1のオオハシコサク間で、
0:00:38	ウェブからトガサキキシノヤマグチがフジワラとなっております。それでは元年度から出席者と、
0:00:47	資料の
0:00:48	説明ですかね、今日は1件だけですけど、進め方なんで、
0:00:54	はい。
0:00:55	日本原燃事務局の仲間でございます。
0:00:59	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:02	Steeringチームより、ケツク、
0:01:06	ハセガワ、
0:01:07	ノモト、
0:01:08	イングロ、
0:01:10	タカヤ、
0:01:11	イシハラ、
0:01:12	WebからMOX及び採取、再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:20	本日も確認いただきます資料ですけれども、本日午前中にご提示差し上げました、今後の進め方、
0:01:28	1、
0:01:29	確認いただきます。
0:01:31	それでは、進め方を含めて、説明の方開始のほどよろしくお願いたします。
0:01:38	はい。すいません。
0:01:40	ございます。今日はですね、本文の方は、
0:01:45	最新のスケジュールに皆を
0:01:47	いうところであるんです。
0:01:49	先にすいません。
0:01:54	と、

0:01:56	いうところで、日本通運、
0:01:58	コウ野瀬
0:02:04	ミイと書いてしまったところ、これ今回の徹底にはですね、上の、
0:02:09	要求事項を踏まえたDDSへの紐づけのところサンプルをつけてますので、その前にある、ひし形をさらに上のレ点のところを対象になるんですが記載を修正するのを、
0:02:22	忘れておりますので、規則を謝らせていただきます。
0:02:25	はい。
0:02:27	本案の方はすいません。はい、古作です。であれば出し直してくださいって言いました。はい。
0:02:34	ちょっとそこは、修正して、出し直しをさせていただきます。
0:02:39	はい。
0:02:40	本文の方は、2 ポツの審査会合のところ
0:02:46	前回からも
0:02:48	やらなきゃいけないと我々が言いながら書いてなかった再処理とか廃棄物管理の設計説明グループの設定のところをちゃんと宿題返しをしないといけないっていうところを認識して、今の作業と紐付けをすることで、追加をさせていただきました。
0:03:02	若干後は、なっている後で出てくる呉と別添のところにつけた、次回の審査会合の徹底。
0:03:17	麻生。
0:03:20	何も書いてないんだ。
0:03:22	4 ページ目にある次回審査会合の説明項目のところと関係して説明のところはやらせていただこうと思います。そっちを先に説明をさせていただきたいと思います。
0:03:36	入力地震動、
0:03:38	全部一方通過やって、
0:03:40	古作ですけど、聞ってる話をただメモにただけだったら別に説明しないでいいですか何か変更したところ、
0:03:49	はい、2014 ページのところですね基本 2 ポツのところは、今までやりとりをしてこういうところが前回の審査会合から具体化したというポイントを挙げさせていただきましたが目新しいものは特にございません。ただ
0:04:03	先ほどの話で、(2)5 ページ目の下、(3)ですね、解析評価等のところ

0:04:10	まだどちらかというとセイリガク整理のところの全体体系をお話しできてないので、なかなか次回の審査会合難しいなというところを若干思っています。まず今回やるべきは4ページのところにある、三つ目。
0:04:24	評価としてまずやることをちゃんと資料23でピックアップをするということ、まだちゃんとやらないといけないのかなと思ってまして。
0:04:33	そこに注力をしていければなと思ってました。
0:04:38	評価要求のフラグがついてなくても機能要求②とかあと仕様表の関係で、その要求を
0:04:45	の根拠なんかをですね評価で示さなきゃいけないものってのちゃんと網羅的に今回の資料ニシノさんの中で上げていくと。
0:04:52	いう作業をまずちゃんとやるということが必要だと思うので、今回の審査会合はそういう視点でどういうことを具体的にやったのかっていうのをしっかり説明していくと。
0:05:00	いうことに注力したいかなと思っていますので先ほど審査会合の案件でも、解析評価のところを挙げてましたが、まずはそちらを今回やらせていただいて次回に解析評価の体系整理をして、
0:05:12	こういう評価の項目があるんだから全体像を見てグルーピングしてこういうふうにやっていくんだという整理につなげていければなというふうに思っていますというところです。
0:05:21	はい。
0:05:22	2ポツのところの関係して説明したかったのはそういうことでございます。はい。
0:05:27	エース本部のサポート行ってるところは日付を最新の状況にしたというところで、まだ前回もお話した中期的なポジションでまだ書き切れてないところがあります。これは
0:05:39	いずれも、最初の説明グループ1の共通12を一体いつ出すんだということ、そこをそこに着眼して全体の流れを作っていくと、
0:05:50	スケジュールも全然立てられないというところで、そこがまだうまく実態も含めた踏ん切りがタテてないところが、スケジュール書けてないところだと思ってるんですが、ちょっと
0:06:01	今週、まだ私も、具体が見えてなくてどのぐらいのポジションにいるかっていうのはまだ把握できてないので、それをまさに含めてやってたのは、今の現状の、
0:06:13	今の出来高と、出すに至って、MOXでやってることをちゃんと反映できているかということも含めて見ていくという視点で初めてそこでスケジュール的なものが、
0:06:25	立てられるのかなと思ってますんで次回の時には少なくともそういう、

0:06:29	今後、12月の審査会合に向けてどうしていったんということがお示しをできるかなと思ってます。
0:06:36	はい。
0:06:39	すいません、議長コサクです。今言われたやつは、
0:06:43	今の先日のヒアリングで長谷川さんから、
0:06:48	一通り並べてみて、前、現状っていう話でしたけど、あれか、いつやるっていうとですね、先週月曜日全部出して、私と、
0:06:58	イシグロのタカヤは見ました。うん。いました。ちょっとイシハラが、その時間の都合とか入れてなくて、
0:07:05	もう一週まわしたやつを、もう1回月曜日っていうか毎週打ち出すことにしてるんですけど。うん。毎週出したやつを次イシハラが。うん。見ると、
0:07:14	ちょっとそれなんですかね。ちょっと出来栄を把握するのと、
0:07:21	我々11月末までに一旦出すという目標を立てているので、
0:07:25	ちょっとそれに向けてどうアクションしていくかってのは、1回、我々の中で、うん。ちょっと議論したいなと思ってます。
0:07:33	はい。
0:07:34	昨日、
0:07:37	今の状況から、今の説明からすると、
0:07:43	何らかのものは、
0:07:45	既存制度が、
0:07:49	どうなんだろうっていう。
0:07:51	感じで、どこをどう入れていけば、
0:07:56	スケジュール乗るのかというところの見通しを立てるそうです。来週前半でやるって感じですか。
0:08:03	ハセガワですかね。
0:08:05	もうちょっと言うんですけどね、いくつかのコウ、
0:08:08	課題というか、解決しないといけないなと思っていることがあって、
0:08:13	まず一つは、
0:08:15	ボックスがこうずっとこうヒアリングしながらこう進化していつているので、こう追いかけてる状況じゃないんですよ。うん。で、
0:08:23	出す時には、どっかでちょっとこう一貫、
0:08:26	切って、ここまでの分は我々反映しましたところで、それ以降は例えば次のステップでみたいな、ちょっとこう、
0:08:35	きめがあるからっていうことと、
0:08:37	ちょっと実際ちょっと作業している、
0:08:41	その担保の、
0:08:43	意見とかも今ちょっと吸い上げて、何が小困りごと何か作っていく上で、

0:08:49	ちょっとそういうところを吸い上げて、我々で何とか判断とか決められるようなところが決めて、ちょっとこういう形で、
0:08:59	ちょっとやりたい。
0:09:02	はい。補足です。それがまさに
0:09:07	作成ガイド。
0:09:10	うん。
0:09:11	作っていい。
0:09:12	ているところのポイントで、どの段階の作成ガイドで作業をする。
0:09:18	か。
0:09:19	作業してるとどう、当然作業の作成ガイドにフィードバックというものが出てくる。
0:09:23	で、
0:09:25	そこはどんどん行っていけばいいんだけど、す、祝辞水平展開する等、作業がぐちゃぐちゃになるのでっていうことを言われてるんだと思うので、
0:09:35	適時反映するにしても、今回の作業は、何日時点までのものはしっかりやりましょう。
0:09:44	ということなんだと思うんで、ソーレ側、明確になるようにこちらにもその作成があったもの。
0:09:51	更新版を提示いただければ、
0:09:54	思います。
0:09:54	はい。その時にどういう議論だったかっていうことをちゃんと共有してやっていく。
0:10:00	いうふうにしてもらえればいいんだと思う。
0:10:04	ですね。
0:10:05	そうすると、
0:10:06	最低限スタートする作成ガイド。
0:10:10	をセットしなきゃいけないっていうこと。
0:10:12	だと思うんですけど。
0:10:15	現状どういう。
0:10:17	該当の状況というふうな意識でいるんですか。与儀西原でございます。今日お出しするものなんですけど、その時点ではおっしゃる通り資料 2 までは、結構ボックスで議論をして、やってること話をしながらこういうポイントがわからないとか、
0:10:34	これはどうしたらいいんだっていうところを反映して作りながら反映をしております。
0:10:39	やはりふと、

0:10:41	確かにひざ突き合わせてやった、資料3のところを、ガイドでどう書くかっていうのが非常に今難しいなと思っていて、そこがまだ、まだ書き切れてないかなと。
0:10:52	結局鸚鵡返しでかくなっているポイントみたいのが書いていながらじゃあどうすんだっていう、かつブレイクしてって形、全体の要求事項から体系的な危機だVだっていう、
0:11:03	ブレイクをしてその要求事項がどうやったら達成できるかっていうのを考えて、構造設計のところを持って行きなさいっていうのまでは書いてはいるんですけど、
0:11:11	やっぱり何か具体例を作って書いてあげないとわかんないなっていうところもあって、そういう意味では、今日お出しをしながら恐縮ですけど、来週見た最初のやつのことと話をしてみて、
0:11:24	どういうところを、書いてあげれば、彼らが作業ができるのかっていうところをさらに出していければなとは思ってます。はい。
0:11:33	はい。高速です。そうすると、今日提示されるのはボックスを入れ込んだ暫定版で、
0:11:40	来週、再処理の現場の意見を、
0:11:44	聞いて、それを可能な範囲で取り入れたものっていうのが、
0:11:50	普通、採用する第一波諸般
0:11:55	いう認識で、
0:11:57	いますとりあえず、はい。
0:12:00	そそのもとでどう作業を進めて順々の資料提示になるのかっていうのは来週、
0:12:08	聞かせてもらえればいいかな。
0:12:11	峰ハセガワです。
0:12:13	保守、ご理解の通りでして、
0:12:15	最後11月末に出すときには、ここまではできてます。逆に言うと、これはできてませんっていうことを、ちょっとこう、自覚的に出したいなと思ってまして。
0:12:27	ちょっとそれも含めて、はい。これから、
0:12:32	はい、終わりました。
0:12:37	ちょうど不透明だったのが途中で進めちゃいましたけど、
0:12:42	ということがサポート位置は基本的にそういうことでございますはい。
0:12:48	43ポツの耐震関係でございます。
0:12:52	確認の変更点でございますけども、両括弧1期の全体の基本地盤モデル策定に向けたデータシナリオのと、4の検討のところですけども、一つ目、



0:13:06	二つとも 08 指摘事項を踏まえた反映報酬課長これ前回のヒアリングも踏まえた形で最低値としてヒアリングをいただくということを予定してごさ いましてこれを追記してございます。
0:13:18	それはそうですねそれを踏まえた先に対しても 08 期の修正はもちろん その議論を踏まえてさ、やっていくことになるんですけども、一旦です ねスケジュールは、
0:13:29	前回ご提示したままで置いておりますけども、この 11 月 14 日の議論も 踏まえて、また必要であればスケジュール力は、適宜リバイスして参り たいというふうに考えているところでございます。
0:13:41	で、ですね両括弧 2 の追加ボーリング調査の実施のところですけども も、これちょっと追記をしてる、カセのところが変更変更といいますか追 記してございまして、
0:13:52	12 月の会合では 11 月 9 日時点での状況、一旦切って、そこまでの住 宅取得状況でご報告を考えてございます。12 月会合でのご説明は 12 月 7 日時点での、
0:14:05	状況で行って、資料提示をさせていただくということを考えてございまし て、ちょっと前回ですねここ追加調査のレポート的なものをご提出する みたいなこともちょっと解体してたんですけども、
0:14:18	ちょっとこの時間以降ですと、もうちょっとパワーポイントベースで、会合 でのご報告を念頭に置いたスタイルで、種データは提示させていただく ということを考えてございます。
0:14:29	で、
0:14:30	12 月介護 1 年にですね、前回ナースピックは以外をすべてご提示した いというふうに言っておりましたけどもその目標はですね、12 月 7 日 で切ったとしても、
0:14:42	一応まだ目標として、江藤まだ頑張れる余地があるかなというので今、 岩石コア以外の結果定義を、この時点でもやるということを目指してい くことをお貸しいただいております。まだちょっと、
0:14:53	ここは実際ですね取得状況において少しちょっと乗り遅れるところが あったらそれはちょっとでき高でご提示すると、ということかというふう に思ってます。
0:15:04	それからあと一つですね、前回もちょっとお話がありました基本シバモ デル施設を考え方ですね、これデータが出る前で今日もちょっと前広に 方針についての
0:15:17	我々検討をまたご提示していく必要があろうかというところのところ が、両括弧 3 でありまして 1 本地盤モデル設定の考え方欲しいんですね このデータをもとに行動設定するというのは、

0:15:28	もちろん、出た後になるわけですがけれども、ちょっとこういうふうに考えて参りたいという道筋の話をさせていただくということを念頭に置いておりました、これ 12 月のアノbeforeちょっと日付はまだユリてなくて、またちょっと我々が何もどこでできるかなと検討させていただきたいと思うんですけども、
0:15:47	これがですね、ちょっと戻っていただきまして 1 ページ目の 2 ポツ今後の審査会合の説明方針のところの 12 月審査会合のところ、
0:15:56	基本地盤モデルの設計方針、一応ちょっとこれ目標にですね、して、ご説明ということで、我々ここを入れているところでございます。
0:16:06	ご説明は以上でございます。
0:16:14	今の 3 ポツ、
0:16:15	予算、
0:16:17	地盤モデルの設定の考え方。
0:16:21	話なの。
0:16:24	解説板。
0:16:26	原因ノモトでございます。ですね、まだ詰め切れてはないんですけども、4 石野間のデータがそろったときに、
0:16:36	そのデータをこういうふうに処理して、それぞれの要因の設定を考えようという今の思惑として考えている。
0:16:48	設定方針ですね。又吉が決まった後に基本、ちょっとまだ詰まってない。はい。はい。
0:16:59	で、(3)と書いてますけど、地盤の実態を考慮したパラメーター設定、この矢印の先に、
0:17:09	はい。
0:17:10	はい。
0:17:11	実態をこうしたパラメーターだって、何をそう呼ぶのか、っていうのまず決まってない。ウラマツからすべしっていうとそれはもう 08 耐震タテの 08 の、
0:17:25	主義版でも、有井、どっからどこ 08 を飛び出すか、ここの括弧 3 の資料がそっちの事故 0808 の事に入っていくんですよっていうことなのかもしれないんですけど、その辺の関係。
0:17:40	もうまたわからないんで、今の段階でどうこう、
0:17:45	12 月の会合であれば少し話を、時間はかかるので、もう一度その辺のスケジュール、そうですね会報に書けるかどうか。
0:17:56	うん。まだヒアリングでどんなもんかっていうのはあると思うんですけど。
0:18:02	もう少し詰めて、

0:18:05	はい、辨野でございます。はい。承知いたしました。耐震タケモト08の次の提出タイミングはこの12月には前にももう一度ありますのでちょっとそこで、
0:18:15	どこまで反映してで、今おっしゃっていただいた中には、どこからどこまでか、ちょっと広報含めてちょっと整理して、ちょっとまたご提示したいと思います。以上でございます。
0:18:26	コサクです。今の点ですね。
0:18:32	考え方っていうのを、はい。
0:18:34	整理をまずして欲しいですね、書いてある通り、
0:18:38	先ほど野口さん言ったのは、考え方じゃなくて、もう結果なり、
0:18:45	アウトプットになっちゃってるんですよ。うん。
0:18:48	じゃなくて、インプットなり、計画が欲しいんです。
0:18:53	それは何かっていうと、今上出が言ったように、その上に書いてある。
0:18:59	考慮したパラメーターから地盤モデル下。
0:19:02	これがもう考え方なんですよ。
0:19:05	うん。
0:19:06	だけど高齢者パラメータって何ってわかんないから考え方
0:19:09	はないんですけど、はい。
0:19:11	沿い、その心をしっかりとしゃべれるようにするっていうのが大事。はい。
0:19:16	なんですね。うん。で、少しブレイクする等、ヒガシ地盤の話をしていて、周辺地盤のデータっていうのをどう考えていくのか。
0:19:27	いうことだし、
0:19:31	フジイ14ページの辺りとかも、同様の話に多分なるんです。
0:19:38	そういったところの論点をちゃんと抽出して行って、それぞれこういうふう考えていきます。はい。
0:19:45	ていうのであって、
0:19:47	まずその抽出する段階だけでももう、その考え方になってるわけですよ、対応方針になってるわけで、
0:19:55	そのあたりをまず整理をして、
0:19:57	できれば今野本さん言われた、次の
0:20:01	耐震建物08の改訂時期にその骨格ぐらいいは入れてもらったりすると、ここに入るな、ここは入れられないとかっていうのも見えてくると。
0:20:11	はい。ちょっと検討を進めていた。
0:20:14	はい。
0:20:24	おばさん。
0:20:26	耐震関係で、

0:20:36	はい、上西矢田でございます。
0:20:41	ここまで別添にですね、DSAの紐づけの整理の考え、やることと、あとはその分、イメージを、
0:20:53	イメージを見ながら、大分ページが通ってますけど、つけております。
0:21:00	10 ページのところですけど、まずは、(1)の整理手順の一つ目のポツは前回セガワのチームで作ってくれたSAの整理項目の整理ですね、別基本設計方針が、
0:21:14	DBの同どの条文と紐づくのかで、
0:21:17	SA、DB特に変わらないのか、SAとしての何らか特有の要求があるのかということ整理をするというのをまずやっているところ。
0:21:27	それを、DBでも等々やっていた設計項目の整理、竜巻だった竜巻と、SAの整理の竜巻の欄のところをジョイントさせて、どういう関係になるんですかって、
0:21:38	私のやりたかったイメージは最終的には資料 2 で、どこの条文のシートでどこまで書いて、結局どこでジョイントして、878 条の条文のシートを竜巻のシートで、
0:21:48	どう両方を書き下していくのか、ここは一緒です、ここは。
0:21:52	やることは一緒なんだけどこういう付帯条件がありますというところの整理をしたいというのが最終ゴールのつもりで話をしている、またそういう形になったり切ってるかというところはまだちょっと不十分だなと思いつつも、今整理をしている途中だと。
0:22:06	ということでイメージを、添付 1 ということで、12 ページですかね。
0:22:09	つけさせていただいてます。
0:22:12	まだイメージがって言ったのが
0:22:15	特に多分やってる人間は悩んで、
0:22:20	いたような機能形跡もあるんですけど、防護対象というところが頭にあっていきなり、最初のところにDBSAで書いてあってオレンジで、
0:22:30	オレンジがとか、ミツイてますけど、ここに出てくるわけないよなと思いつつも、こんなところに出てくる時点で多分設計方針わかってるんだろうなっていう。
0:22:39	それぞれ、多分次のページの 13 ページ、13 ページ、13 ページのそれぞれの防護施設の設計方針のところ、
0:22:51	多分龍崎の資料もかけてないからこうなったんじゃないかなという思いもあって、いきなり今構造設計段って書いてあるんですけど、もともと対象が何かを多分示さないといけないポイントがあるんですけど、

0:23:04	そこが例えば 14 番立山建屋内の防護対象施設は、設計過剰竜巻に対して安全機能を損なわない設計とするっていう、いきなり配置設計が出てきて多分ここで、
0:23:15	はい。関。はい。すいません。コサクです。状況わかりました。まず、はい。
0:23:24	石原さん言われたように、ここにDが来るのはおかしい。
0:23:28	そもそもDBはDBでやりましょうSs-Aでやりましょうという、プロセス分けたんだから、ここにまだDBで整理できてないものが入ること自体が、拙速。
0:23:39	です。
0:23:40	なので、戻しましょう。はい。SEというジョイントですよ。はい。
0:23:46	やりたい気持ちはわかってて、
0:23:50	石原さんが言われた、
0:23:53	引き継ぎをしていくためには引き継ぐ先がわからないとつなげられないと、ということなので先はどうなってるのっていうのを見たいと思って書かれたんだと思うんですけど。
0:24:04	それは次のフェーズで照らし合わせるっていうところでやることなので、
0:24:10	は、
0:24:11	若干そのときに微修正が加わる。
0:24:14	というのをもう諦めて、
0:24:18	前回やったように、これはそのプラスアルファがあるのかそのまま使うっていうそもそもの制度方針なのかと。
0:24:24	いう入口だけをまずやると。
0:24:27	いう認識に戻した方がいいと。
0:24:29	ます。
0:24:36	次のフェーズではここで書いてある通りではあるんですけど、DBの何番がここに関係するのかっていうのを、
0:24:45	書けばよくてですね、例えば、今ちょうど言われたところと言えば、防護対象施設の防護設計で 15 番と、
0:24:55	いうのがあって、その中に、DBの
0:25:01	基本設計方針ナンバー7 から 9 より展開。
0:25:05	とか、
0:25:06	番号振ってあるじゃないですか。これ、展開だからちょっとよくないのかなという利点、
0:25:13	これの、
0:25:14	DBの番号が何番なのかと。
0:25:19	いうことが、

0:25:21	わかるわけですねDBの整理をつけば、
0:25:23	SAの 15 番は、DBの何番とリンクするものと。
0:25:31	ということがチェックできればいいわけですよ。そうすると、資料 2 の中では、36 条ですかね。はい。の、この部分の基本設計方針に対して、DBのナンバー、
0:25:44	を使う設計とする。
0:25:47	よってそちら側で対応します。
0:25:51	して、古井。
0:25:53	その時にプラスアルファの条件があれば、その際にはこういう条件も加味して対応すると。
0:25:59	いうことでパスを送り、
0:26:02	受けての、そのDBの
0:26:04	何番と。
0:26:06	いうところでは
0:26:08	SAから振られた 39 条、何番。
0:26:13	についても、そのパス出しで条件についてはこれも含めて、対応すると。
0:26:19	書けばいい。はい。
0:26:20	ということですよ。
0:26:23	おっしゃっていただいたように日本原燃車です。結局、頑張っ作ってくれたはいいんですけど、SAで、
0:26:33	これは竜巻に対して健全性を確保する設計とする、じゃあその設計どうするのって言ったならそっから多分この竜巻の頭に動的で、それぞれ多分、どこに付帯条件を出していくかっていう整理になるんで、
0:26:45	ここのところに飛んでくるわけじゃないはずなんです。なのでそういうことを考えて資料 2 でどういう整理をしたいのかっていうところに帰着するように、うまく整理をしないとイケないとは思ってますはい。
0:26:56	はい。補足です。今私一対一のような感じで言いましたけど、石原さん言われたところLower、おそらくSAの
0:27:05	一行は、DBの 10 行ぐらいしか、こことこことここが対応しますってなるんですよ。はい。
0:27:13	で、SN1 市 10 行も書けないから、DBにパスする。
0:27:19	なので今やれるわけがないんですよ。
0:27:23	ていうところだからまず 1 回どういう関係だとかを整理しましょうで整理してDB見ると、この部分でどこが対応する。一井サンゴ 10 だね。うん。
0:27:34	どこが所、プラスアルファの条件ってのはどこの業務に該当するの。この業さんと茅根外間っていうふうに言う感じなるっていうことなので、そ

	れ以外のところは、淡々と使えばいいということだし、プラスアルファここだけ対応すればいい。はい。
0:27:49	ということで据え置きがつくってというイメージでいますから、
0:27:54	ちょっと戻していない。はい。対応いただければと思います。
0:27:59	はい、上西でございます。はい、ありがとうございます。イメージはわかりました。つかべました。はい。
0:28:05	自分で目指してるところなかなか口で説明。
0:28:08	ところがあるのではい。ありがとうございます。はい。ちょっとその整理で、復旧進めます。はい。
0:28:14	あと、
0:28:15	この整理、ちなみに、今ので、さっきおっしゃったように瀬川さんは理解したのかな。
0:28:22	セガワシミズが理解できてくれば、
0:28:25	0、あれ、そっちいる。
0:28:29	日本原燃の瀬川です。ちょっと今日の資料はちょっと清水さんの手を借りてやったものですが、
0:28:37	コサクさんがおっしゃったイメージは私なりには分かったつもりです。研修でしたっけ、やらせていただいた表の中にですね、
0:28:48	デービーの基本設計方針番号の層構造に基づくんだと、というような情報も、
0:28:56	以前見てた表の中に書き込んでいく予定でございます。
0:29:01	青井コサクです。はい。将来的にはそうしたらいいと思うんですけど。
0:29:06	現時点は前回、前回の符号のつけ方をちょっと変えて欲しいことはあるんですが、やってることはあれでよくて、
0:29:15	そのまま使うのか、プラスアルファの
0:29:21	何なのかというその色付けさえわかればいい。
0:29:25	です。
0:29:26	まずは、その次にDの方も並行して整理がつくからその整理がついたところで、そのNo. っていうふうに作業すればいいかなと思ってます。
0:29:38	はい。人間のセガワサノ承知いたしました。結果してですね今日夕方、リバイズ坂スズエ会のヒアリングのコメントは伊佐坂をアノ提出させていただきます。坂にはですね、
0:29:51	降下福岡の日基本設計方針のひもづけはまだできてない状態。
0:30:00	ない状態で、資料提出できますので、しっかりもともとの目的包括して議論できるかなと思ってます。以上です。
0:30:11	コサクです。
0:30:13	それであればイメージ通ります。

0:30:15	けど、ちなみに符号ってどういうふうにつけました。
0:30:20	はい。日本原燃の瀬川です。えーとですね。
0:30:23	バー、バーの方ですね※1※2※3 あったやつ。あれはすべてバーだけで済ませています。丸の方。
0:30:32	これが、
0:30:33	丸のつけ方の解釈をちょっと変えてですね。
0:30:38	設計基準とリンクするようなものに対しては0 オクるというのを原則にした上で、その中で、DBと差分があり得るもの、設計上の配慮としては、差分が発生するものには※1、
0:30:52	条件設定に差分が発生するものには※2 をつけるというルールで、一律展開し、
0:31:01	えっと、前回のバーの※1※2※3 って何でしたっけ。
0:31:11	道が、
0:31:13	同じ対象がいる違う合同宣言かがコメン値、
0:31:18	コメリが提示かなんかで他で振ってるやつが確かコミニなかったか。
0:31:23	米さんが、ただ米にはあれだ。
0:31:27	基本設計方針でいろんなこと書いてるんだけど、ここの、横軸で該当しないいいでしょう、減少してないですねだったっけな。
0:31:37	コサクですそれで言うと、
0:31:41	まず、
0:31:42	冒頭宣言はバーじゃなくて、
0:31:45	枠を統合して、冒頭宣言であり受けは何番ですって書くってことにしてねと。
0:31:52	話をしたはずですけどそれはできてないんですか。
0:32:03	あ、瀬川さん聞こえる。
0:32:09	シミズが作ってルーDBのビジネスが作っていてももともと竜巻とかと同じように今やってるよね、確か。
0:32:20	はい聞こえる。
0:32:24	バーになバーになってるか、関係ないやつだけがバーになってんだ。冒頭宣言ところは展開してます。南波です。はい。
0:32:33	それをそれに、
0:32:36	で、ここバー※3 は何だ。
0:32:39	はい、根井さん。
0:32:44	※3 は、定義で良い提示。
0:32:48	て議員を条件として何とかっていうので何かルール化してましたよね。はい。鳥居鳥羽須崎をカノウタダノ言葉の定義であればそこで終わりだし、言葉の定義だと書いて、条件の場合は設計条件だとしてどこに、



0:33:03	それが出てくるかっていうところです。
0:33:06	でもそれも同じようにやってもらって、カバーはコンコンまでの※2の部分だけ、一つになるからババでいいですよ。
0:33:14	ということで、
0:33:16	はい。で、丸が、
0:33:19	※1 がプラスアルファあるもの。
0:33:22	対応としてプラスアルファの※2 が、条件の変更。
0:33:29	ということですけど。
0:33:31	それ※1 と※2 の違い。
0:33:34	ていうのは、
0:33:36	何か、
0:33:38	仕分けが必要なんですかね。
0:33:40	この時点。
0:33:43	ほとんど※1 なんですけど一部、のあれですね。
0:33:49	例えば小尾の例でいくと、これも※2 なのかな、全周破断の1セキネ米になっていたり、それは米田礫砂層ですね。
0:34:01	あとは設計基準を超えるの降灰の濃度。
0:34:05	※になってますけど、これもコメディでやったところであんまり来、極端な言い方ですよ。そう。
0:34:15	補足です。想像通りというか、あまり
0:34:20	差分は出てこなくて、
0:34:23	同じ対応になっていくんじゃないかなと。
0:34:26	いう気はするので、
0:34:30	今やっちゃってるのを直す必要もないんだろうから、見て、結局、最終的にはこうしようという話ができればいい。
0:34:44	まだそのままの時は個別数、何か違いがあるものをつくという意識で見て、はい。
0:34:51	ええ。
0:34:53	整理がつきそうかどうかを、
0:34:56	今日提示するという、
0:34:59	していきましょう。前回確かに、
0:35:01	丸と三角とか記号で分けますかって話もありましたけど※で書ききれぬならば、それもありかなということで、はい。はい。
0:35:12	あと、
0:35:13	ちょっと次のステップ次の次から出てくるんですが、例えばですけどちょっと私も、ぼんと書いて失敗したのというのが12ページで上の欄に設備書いてるんですけど、

0:35:24	SAの一番右に、水盤取水盤と二つ出てくるんですけど、
0:35:29	これ前回の審査会合でも説明グループ1の説明の中に、
0:35:34	溢水対策ですね、重大事故対策の兼用のプールにおいて一番ウタ光外傷の防護設計を説明しますって書いていたんですけどこれは確かに
0:35:44	やりとりで、質問を確か1回もらってその回答はしてたんですけど、これ書き方失敗なんていうのはこう書きちゃうとDが何でないんだって話になるんですけど、
0:35:54	これやりたいのは、漏えい抑制設備っていうのがSAにプールの水を、特になるべく出さないように初期水位が必要な分だけ維持できるようにする設備なので、
0:36:05	本当はこう書かずに、屋内の機器配管床に漏えい抑制設備って書いてエントリーしておくのが多分よかったのかなと思います
0:36:15	アノDの取水盤と蓋を期待したいわけじゃなくて、漏えい抑制設備がSA設備だから、SA設備は竜巻なんかの外傷から守れるようにしますみたいな、
0:36:25	手法で展開されるものが対象になると。
0:36:28	ということで、ここに登場しちゃってるんですけど、
0:36:33	ちょっとこう書くと大分誤解があるなという気もしてちょっとその辺は工夫を、正直やる時にはさせていただきます。はい。
0:36:44	うん。
0:36:49	これは以前もふたとか水道、いろいろいじって、
0:36:54	許可のときに約束した蓋とか言っ止水版の効果ってどうなってんのって話は、やりとりがあったと思うんですけど。
0:37:01	一応、受け取りをしているので、その兼用設備として自由が丘、
0:37:06	今ディップ資料1でいう申請対象設備室にすると。
0:37:10	止水版二つ累計、種々の軽量化なんかのところに、中で、SAの漏えい抑制設備ってのがエントリーされるみたいな。
0:37:19	10番だけが主語になって、ここに出てきますっていう話をちょっとうまく、
0:37:25	整理をして書けるようにします。はい。はい。はい。
0:37:29	はい。別邸の方は今いただいた話を踏まえて、整理をどういうステップでやっていくかをちゃんと書いて、そのステップの今どこにいるかっていうのを明らかにして、作業を進めていきたいと。
0:37:42	はい。
0:37:43	コサクです。
0:37:45	大体考えてることはわかりました。それで、
0:37:49	気になったのは、その横の竜巻防護

0:37:54	ホームネットは確かにDBの設備だけを守っているのでもいいんですけど、5番は楽等は守ってもらわないと駄目ですよ。
0:38:04	ここもう、
0:38:07	最初SA設備に防護版って書かれたんで、書くのはいいけどちょっと考えて加工ねつつたらバーになってきちゃったんですね。
0:38:15	おっしゃってたんやけど5番は、ダクトが重大事故大切なので、そういうのは旧ウエキを考えていってイイダ、いろんなことを竜巻から守りなさいとかって出てくるから、
0:38:26	その辺の設計上の考慮を変えかけるようにしておかないとちょっと後々、繋がりがなくなっちゃうのでちょっとここは書き方は工夫をします。はい。
0:38:35	江藤5番はノミネートした上で、下での設計配慮がどの程度のもはざっと課長すべきだっていうのをちゃんと検討して整理しますということですね。そうですね、はいと思います。あと多分上のほうもただ書くだけじゃなくてどういう。
0:38:50	ことを考えなきゃいけないシンボのかけたのわかるように、名称加工流通につけるのかなと思ってます。はい。
0:38:58	はい、細木です。それはまさにそれがどの、
0:39:02	状態においてどういう機能に期待しているのかっていうことだと思うので、
0:39:09	とても大事なポイント。
0:39:11	SAはすぐに
0:39:13	要員がお伝えするものが違ったり、
0:39:18	そのときに、対して考えなきゃいけない環境条件が違ったりと。
0:39:23	いうことがあるので、
0:39:26	その判断のインプットになるように、
0:39:30	いうことで考えてもらえればと思います。で、この作業自体がまさにその論点を明確にするっていう作業なので、上を一生懸命考えるというよりはまずした整理をしてみて、
0:39:42	そうすると、考えなきゃいけないところってこういうことだよ。で、上のものはどこまでなんだろう。
0:39:49	何でだっけって考えるとこういうことだったよね、じゃあ書くというのはこういうふうに書いてわかるねと。
0:39:55	いうふうに、
0:39:56	流れてくるものだと思うんで、やりながら精査いただければ、
0:40:00	明日、

0:40:01	はい、乳井西様でございますはい。ありがとうございます。はい。おっしゃっていただいていると思うのははい。やる、やる。こういう順番、
0:40:10	すぐ
0:40:12	何でしょう、三野的に粟津さん、大田さん。
0:40:15	順番に、
0:40:17	積み上げて、
0:40:18	はい。よろしく。
0:40:19	はい。
0:40:24	はい。
0:40:25	うん。
0:40:26	は、別添に分散コサクですねって文章のところは飛ばしましたけど、結局その、
0:40:33	ことが書いてあるっていいことですか。はい。(1)の手順のところの一つ目のポツクマルアノさっき野瀬がやっていただくような話を伝えていて、うん。ただ
0:40:44	一足飛びに最後のゴールを目指そうとした結果が、またはGで、屋外屋内とか常設可搬とか分けて整理をしましょうと。
0:40:53	これが、何でしょう。
0:40:56	これ今参考の1についてですけど、まさしく一対一で基本設計方針をつなげようとしたんで、この作業になってますけど、そうじゃないよねっていうところも含めて整理をもう1回考えます。
0:41:07	ということで、二つ目のポツは、今の
0:41:11	設備のやつは赤字で書いたりっていう訳をしますと言ってる話と、あとは、
0:41:17	※1とか五名人とかでやったやつをそれぞれ、今は国、
0:41:24	こういうことが、DBとSAと共通なのか、SAで何らか付帯条件がつくのかっていうのを書いていきたいと、いうこと。ここもちょっと
0:41:34	請願の整理に大分寄ったところがあるんで、それをそれをベースに考えるにしてもどういことをここで整理しなきゃいけないかっていうのをもうちょっとちゃんと書き出さないと、
0:41:44	ゴールがなかなか遠いな。
0:41:45	ので、そこはちょっとあの際考えます。
0:41:48	何をしたいかをメッセージをちゃんと伝えて、
0:41:51	ここで多分作業ステップを割って、こういうふうに積み上げていくんだよってことを伝えて、作業をやらしてもらおうと思います。はい。
0:42:01	わかりました。はい。
0:42:06	あ、ごめんなさい。

0:42:08	統一今日、一応暫定の資料出てくると。
0:42:12	出てくるのは、これ自体は、13になってたと思います。シリーズで今日レベルはBの設計項目の整理とSAのセガワがやってたやつが出てきますけど、
0:42:24	うん。
0:42:27	ごめんなさい。磯。
0:42:30	その次にこの表のリバプール
0:42:32	はい。
0:42:36	ごめんなさい、コサクそうすると、
0:42:39	この表入ります。
0:42:43	あ、これSDガチャン5番みたいなもの。
0:42:46	これ、
0:42:49	だって書けないよ、さっき言ったように。そうです。だから10一つに授業はあちこちから持ってきますって。
0:42:56	そうすると、DBの条文あちこちにちりばめられることになって、
0:43:02	見てくれも悪いしなきゃいけない。わかんなくなる可能性があるんで、ちょっとそれも含めて、やり方を持つか考えて、
0:43:09	かつSAとDBの今の設計項目の整理、
0:43:13	ちゃんとやった上で、じゃあそれをベースにどうしますかっていうの考えるかなってことです。結局資料にするわけですが、田川なんてない。
0:43:24	はい。まあまあですよ。はい。なので、先ほど言ったように、SEはまずマルペケでいいですよ。
0:43:32	次のバージョンで、DBとの紐付けの番号を振りましょうと先ほどの難波南波と追記するという作業が次のページですね。はい。DBの方は、SAから振られたもの。
0:43:43	井清から降ってきたものの番号付けをして、プラスアルファの条件をつけましょう。はい。
0:43:51	そういうだけは次に参ります。そいでいくと、
0:43:54	Dのやつ、
0:43:56	リバイス版を作った方がええってそれぞれ、はい。
0:44:00	はい。
0:44:01	その次は、DBの方で、その一行一行をどう対応するかっていう資料3の方の話。
0:44:09	はい。はい。
0:44:10	弓削西尾でございます。はい。ありがとうございます。前回ちょっと提示して交通整理した上で、
0:44:17	どの作業をどういうふうに、結果は示したいと思います。はい。

0:44:23	はい。
0:44:29	うーん。
0:44:31	はい。あとは、
0:44:34	参考1でスケジュールを
0:44:38	言います。
0:44:39	審査会合の安定を入れたの。
0:44:45	ちょっと回数が前より少なくなってるのは、どっかで考えなきゃいかん。
0:44:52	ております。
0:44:54	はい。
0:44:55	あとは、
0:44:57	等ですね先ほど言った7日の午前の資料、もう一度すみません
0:45:04	正式版という形で出させて、
0:45:08	7日の午後のやつが6日の午前中にIIIASでますけど、これも
0:45:14	次につなげていく議論をしないといけないので、
0:45:19	まだ残っている影響評価の話とか、水、安全設計だ設備の設計に関するインターフェースの話。
0:45:28	そこについては、内容、着眼点でどういうステップで整理すべきなきゃいけないのかっていう現状把握をちゃんと疑いで共通認識を持たなきゃいけないと思うので、
0:45:39	現状足りてないと思ってる点こういうところをちゃんと明確になきゃいけないよねっていうところを書かせていただいて話ができるようにしようと思ってます。
0:45:48	いうところでございます。
0:45:50	結局は、
0:45:53	私が言うところかな。
0:45:54	あれ関川比較的状况が出てると思ってるので、条文要求なり申請での変更案件が何かとかっていうのも明確な気もするので、
0:46:05	安全設計側から三谷他の2Sへの影響とかっていう、何を見ればいいのか結構明確に書けるんですけど。
0:46:11	他の申請とか他の設備の要求がやっぱりふわっとしてる部分が多いので、
0:46:16	そこを明らかにして、紐づけをどうしましょうかというところかなと思ってます。はい。
0:46:23	はい。
0:46:24	あとは、いつものごとく、裏に行くと、

0:46:28	かすかなのは先ほどの話。はい。再処理の共通の説明グループ1をどうやっていくのかっていうところで、スケジューリングをしていきたいと思います。はい。
0:46:40	はい。以上です。
0:46:44	規制庁コサクです。
0:46:52	いろいろな話でSDのは、作業プロセスをね、
0:46:58	思うんで、
0:47:01	まずは入口需要家のヒアリングっていうことで話をして、
0:47:07	米田からですね、SDそれぞれっていうことだから、その際に相互関係も少し話ができる、
0:47:16	少し悩ましい、次の作業に入るにあたって悩ましいことがあれば、それもあわせて相談いただいたら、はい、いいと思います。はい。
0:47:26	ガッチャンコも今、今13提出してますけど、8日のヒアリングでのやりとりを踏まえて、じゃあ次どういうステップでこの時にどういうステップでやるかも、少なくとも口頭では説明できるようにしときますんで、
0:47:39	それでやりとりさしていただいてじゃあ次どういう市場がいつ出てくるんだみたいのが、ちゃんと会話がつながられるようにし、準備はしますはい。
0:47:47	はい。補足です。わかりました。そうしていったところその中、
0:47:55	11月の会合で、評価の話は難しいけど、
0:48:02	打ち返しとして最初リーの説明グループでの説明項目
0:48:08	というのを整理をされると言われていてですね。
0:48:13	でも、前の話そのためにはDBSAの整理をしないと、まとまりきらないよねって、
0:48:20	ということだったと思うんですけど、どう繋がってくるんですかはい、上西荒でございます。並行してその説明グループ、結局今回の、特にSAの要求事項の整理、これをやってSA側で、グループでよく出てくる隅括弧の項目が1点、何が全体あるんだと。
0:48:36	ということと、
0:48:38	どの説明グループで説明するのが一番関係性も含めて合理的なのかっていうところの整理をして、
0:48:44	それを、
0:48:45	結果を今は、これで委員会かどうかあれですけど、7日の日に今ちょっと私、7日の日に出す共通ドイの本文別添、
0:48:55	そこで、説明グループ、最初のやつも含めて、展開をさせていただこうかなと思ってます。それを、9日の日にヒアリングをさせていただこうかなというのが今の現状。

0:49:23	3 元年内の作業でちゃんとできてればいいんでしょうけど、SDの話が、8 日のヒアリングなのに、
0:49:35	その反映ができていない資料が前日に出され、
0:49:40	翌日 2 ヒアリングで、
0:49:43	というのが、
0:49:45	効果的なのかどうかって言うのがちょっとよくわからない。
0:49:51	はい。ユニシアでございます。そうですね。
0:49:56	基本的には、非効率な気はしてますけどシーケンシャルにあんまりうまくなっていないと思ってます。ポイントであれば多分Ss-D
0:50:05	DBの設計項目の整理の話をして、
0:50:09	そこでどういう点がまだ直さなきゃいけないという点に問題があるんだっていうことをやりとりした上でそれをもとに、隅括弧結局何かどれかで、どういう説明をしなければいけないんだというのが明らかになってくると。
0:50:22	あとは結局は説明グループどこで説明するのが最も適切なのかっていうのは、説明グループごとについて他のDBが二の矢とかSAの要件だったり、建物構築物機器配管の設計なり説明するんだと。
0:50:37	どれとコラボするんだってところの整理だと思うので、
0:50:41	ベースがまず整理できないと話がうまく進まない気はしてますので、
0:50:45	普通にやったら 8 日のヒアリングの後に、多分共通順位の本体に反映するなり、別の資料を作るなりして、
0:50:53	出しお出したあとヒアリングってとこだと思うんですけど。
0:50:57	そうですねこれが今ひとつハンドリングが面倒アマヤ大分面倒くさくなったのが、第 1MOXが両方入って本文なんていうところがちょっと面倒くさいなというふうにはなってますちょっと
0:51:10	コサクです。状況はわかりました。で、ということからすると、資料提示はこのまま進めていただいていいんですけど、
0:51:21	8 日のヒアリング
0:51:23	分、
0:51:24	内容を踏まえて説明項目隅括弧の整理をしていただかなきゃいけないと、
0:51:31	それを前提に、それ、対応方針まで翌日無理だと思うので、
0:51:37	そこは
0:51:41	やりますよね。ぐらいにして、それ以外に何か明確にしておかなきゃいけないことっていうのを 9 日に話をして、
0:51:49	最終的に隅括弧整理するためにはその次のDBSAのガッチャンコウタ版、



0:51:54	13日の資料提示で16日イマダっていう、
0:51:59	ものでようやく驚見がここをすればいいって、これはDB側だよこれはSA単独でこっちでやった方がいいよねっていうのが、イメージがついてくるので、
0:52:12	この16日のヒアリングを踏まえた修正っていうのを出していくっていうのが大事で、そうすると、その日にまた資料提示だったんですよね。
0:52:22	これはちょっとずらしてもらった方がいいかもしれないですね。
0:52:28	16日じゃなくてもいいですけど、このヒアリングヒアリングを前に倒さないと独占しないところですね。はい。
0:52:36	はい。はい。
0:52:44	はい。
0:52:49	はい。ちょっと待ってください。
0:52:59	古作です。そうだとすると超ぎりぎりなんですよ。はい。
0:53:06	まだ検討中の状況
0:53:10	やっていくという方向に、
0:53:18	いいですけど、
0:53:20	あります。
0:53:25	はい。考えてください。はい。
0:53:32	とは思いますが、とりあえず説明グループ1を走らせるときには、
0:53:37	大枠で決まれば、出していくっていう手もあるので、必要なものは
0:53:44	12月2ぐらい出す、最初に整理して、現状の整理はこれによって今回ここですって言えばいいぐらいだと思います。
0:53:53	わかりました。
0:53:54	はい。
0:53:56	それも踏まえて、はい。そこも含めてちょっと検討して、はい。
0:54:00	はい、そうです。で、評価の方はどうなんですか。
0:54:04	はい。ちょっと今、
0:54:07	いろいろと考えながらちょっとまだスケジュール的に上がっていった今、20日にやろうとすると、本部に組み込んだ形で説明しなきゃなということで今7日て自分に入れようって考えたんですけど。うん。
0:54:19	さっきの話でまだその状態にも慣れてないので、
0:54:23	このなのかいと別にちょっと資料をまた出してヒアリングをするセットの考え方を入れないといけないなと思ってたところでした。
0:54:33	のでちょっと、
0:54:36	そこのやり方考えますと、もっと考えて、これじゃ駄目だなと、全然合っていないなというのでちょっと切り離しを考えないといかんと思う。
0:54:46	ちょっと具体的な案を考えて、

0:54:48	はい。はい、わかりました。コサクです。
0:54:55	そうですね天田入れ込むと、
0:54:57	前回ヒアリング後は反映するだけっていうほど煮詰まった感じではないので、
0:55:06	その方向性をどこかで話をしないとと思って、
0:55:11	今日の資料でなかったので、
0:55:14	どうすんのかなっていう感じだったんですけど、整理をして、はい。
0:55:18	来週聞かせてもらう。
0:55:23	はい。与儀ニシダでございます。はい。
0:55:32	補足です。スケジュールをお話しいただいたので、
0:55:36	大丈夫かなと思うんですけど、今日午前中、標準応答スペクトルの取り入れについての経過措置に関しての事業者意見。
0:55:47	というのがあって原燃からも説明をご参加していただきましたけど、
0:55:53	残念な発言が、
0:55:56	ありまして、
0:55:59	竣工スタッフ、標準応答スペクトルを反映する前に竣工した方が安全だと。
0:56:07	いうことを言われて意味がわからない。
0:56:10	す。
0:56:11	で、私から釘を刺しさせていただいたのは、
0:56:15	竣工ではなくて、新基準適合。
0:56:20	完了だろう。
0:56:24	それを、かつ、そこには、
0:56:28	標準応答スペクトルって、Aの範囲において追加工事が発生しないように、
0:56:34	新基準適合で耐震裕度を持たせようとするだろうと。
0:56:41	で、あくまでその後の確認評価の時間というだけなんで、
0:56:47	そこを間違えない。
0:56:50	いうことを付与してますので、こちら耐震評価の中で、誘導を、
0:56:58	ネットを持って対応いただきたい。前も申し上げてますが、
0:57:02	そうしないと説明がずれて、
0:57:05	その点、十分認識をして欲しいと。
0:57:08	こちらの方が認識してくれてると思うんですけど、
0:57:12	現社内全体にもちゃんと認識をとるように、
0:57:17	してください本当アノば2オザワじゃなくて、お2人ぐらいに出て、
0:57:26	出ていながら違うなと思っていないです。
0:57:34	ユリハセガワです。

0:57:36	計算します。
0:57:37	9名は、
0:57:39	イトウオオバとは、先週の段階で、
0:57:42	私話をし、
0:57:44	おっしゃる通りで、きちっと安全を高めて、適合の
0:57:48	そうすることが、安全には繋がる。
0:57:51	スタッフ。
0:57:52	来てたつもりだったんですけど
0:57:55	はい。
0:57:58	そう。言葉遣いがね、ことごとく間違う。
0:58:01	ですよ。
0:58:02	原燃らしいなっていうところなんですけど。
0:58:06	はい。その点を少し、
0:58:09	マスで、特に他の各社は設工認が大体終わって、
0:58:15	言ってるんで新基準点がですね。なので、融度が明確になってて、だから、補強工事の要否っていうのが明確に判断できる。
0:58:24	ですけど、
0:58:25	原燃の場合はそうじゃなくって、そのベース自体がこれから揺れ動く可能性がある。
0:58:30	いう状況なので、
0:58:33	その点も本当に認識してしゃべってるのかなっていう。
0:58:38	感じだったんですね。それも結局釘刺すは無理だったんですけど、
0:58:47	だからこそまずは新基準適合
0:58:50	をしっかりとやり、
0:58:52	その土台の中で、標準応答スペクトルの取り入れに関する書籍や、
0:58:59	融資なりを
0:59:02	なはずなので、その理解は私から申しあげましたから。
0:59:08	数字のつとった伴った活動を用意します。
0:59:14	ちなみにあの、
0:59:17	経過措置の時期はその場でも、9電の差っ引いた日付とかは、許容できない。
0:59:26	いう話を、
0:59:28	試験として杉山委員から、
0:59:31	言われていて、それに乗った原燃のスケジュールも当然疑問。
0:59:36	ついて、
0:59:38	です。私からは2年以上と言いながら3年引いてるので、
0:59:44	全くもって理解できない。

0:59:47	ただ、
0:59:48	新基準適合の設工認見積もるかわからないです。
0:59:54	そこ、暫定で今の予定の、来年度上期、
0:59:58	に終わりの線を引いているから、
1:00:01	そこのクッションとして伸びているんだよねっていう。
1:00:06	ことであって、そこが来。
1:00:10	定まったところで、そのあと3年使うってことじゃないっていうことは、
1:00:15	それも首をさせて、
1:00:17	ます。本当は2年もかからずに、
1:00:19	1年ぐらいでやって欲しいところなんですけど、電力各社も、
1:00:26	計算量とかを出して、
1:00:31	24ヶ月なり36ヶ月と。
1:00:33	ているので、
1:00:35	なぜかよくわかんないんですけど、原燃の計算量と変わらないんですよ。
1:00:43	今回の新基準適合の計算って、
1:00:46	炉に比べてこんだけ多いからこんだけ大変なんですって言っていたはずなのに、なんで違うマネージャっていうかね。
1:00:55	数字が出た
1:00:58	ちょっと後で今日の資料見ていただいて、
1:01:01	状況なのかもしれません。
1:01:07	全体見ると、挿入は少ないんですよ、1年で計算してるんですね。
1:01:11	しかもその許可審査中に前倒しで計算をして、
1:01:17	ということなんですけど、大きな違いは特重がない。
1:01:21	特重施設は
1:01:23	全体がSs
1:01:26	対応。
1:01:27	ですプラスアルファがあります。
1:01:29	ということだから、その分の負荷が大分かかっているだろうなと思う。
1:01:35	それにしても、
1:01:37	こんだけタテヤノある再処理、
1:01:40	と、何で同じ計算量なのか。
1:01:44	いうところがあって、そこは実はちょっと、おいおい。
1:01:50	確認して教えて欲しい。
1:01:56	その上で、
1:01:59	こちらの設工認の後、

1:02:02	近野節コウ。
1:02:04	がどれぐらい。
1:02:09	いうのは、明確にしていきたい。
1:02:15	これ、
1:02:16	によっては経過措置自体の議論は早々に進む可能性があるので、
1:02:25	今、できれば確認を取り、ちょっと余裕を持ったような言い方しましたけど、取り急ぎ状況を確認して、
1:02:35	お話いただければいい。
1:02:37	いうふうに、
1:02:40	私のパッと見た感想で言うと、9 電は、明確に 1 年ぐらい前倒しできそうだと。
1:02:48	思うんですね。
1:02:52	と言われるような線を今回、
1:02:55	すると原価も 1 年前倒しないと。
1:03:02	ということで、多分、元の日には説明つかないんですよ。
1:03:10	なので、少なくとも 2 年って言うところ 3 年っていう余裕は取れない。
1:03:15	もともと取れないですけど、幾つか、
1:03:19	それでも、
1:03:20	9 年と切り合うぐらいあって、
1:03:25	もうちょっと前倒しできないのかみたいな話があり、
1:03:28	結果とする等、
1:03:32	もう入力、入力ですね、基準地震動が決まってるわけだから、
1:03:36	申請は別にするにしても、解析は今から着手して、
1:03:41	いいわけですね、今からっていうか
1:03:43	地盤モデルが固まったら、
1:03:47	うん。こちらの地震動と同じように計算をして、
1:03:51	行けばよくて、
1:03:56	どれが最短で計算できるかよくわかんないんですけど、
1:04:00	そこを差っ引いていく。
1:04:02	いうことかなと。
1:04:04	で、
1:04:07	そのあたりも含めてこちらの新基準適合のプロセスの進みがどう、
1:04:13	あってっていったことも関係すると思うんですけど、
1:04:17	それを明確にプロセス違うんで別で、だから遅れますっていうのでは説明もつかないので、どうやるのが一番お互い合理的なのか、最速なんですか。

1:04:30	いうことは、
1:04:34	来週いえるかどうかわかりません。
1:04:36	けど、来週再来週。
1:04:38	ぐらいに何らか、
1:04:40	貸してもらおう。
1:04:41	ではないとちょっと検討プロセスにならずにちょっと、
1:04:44	下手すると貧乏くじー。
1:04:46	雨になる。
1:04:48	現状だと
1:04:50	積み上げ芸に足る技術的情報を提示いただいてないという感じになっ てるから、
1:04:55	提示できないってことはもう、
1:04:58	これでできますよっていう。
1:05:00	肝心な、
1:05:02	ちゃんとおつらいと思って、
1:05:04	整理をして、
1:05:09	もともと標準応答スペクトルの、
1:05:11	プロジェクト自体が、
1:05:13	事業者がやらないのでやってやるよっていう感じで、こちらはご利用して る流れに、
1:05:18	上がってる案件なんで、
1:05:21	ここらぐらいでしっかり、
1:05:25	で、
1:05:26	現実が、
1:05:28	回るようにして、
1:05:30	あと、
1:05:32	はい、峯ハセガワで承知しました。ちょっと中で、
1:05:35	状況確認してきます。はい。
1:05:44	はい。
1:05:49	はい。
1:05:51	スケジュール。
1:05:53	はい。ちょっと当面のスケジュール。
1:05:56	はい。
1:05:57	まず、
1:05:58	提示予定の資料は、
1:06:01	はい。

1:06:05	水曜日、
1:06:07	はい。
1:06:08	はい。
1:06:10	火曜日に予定してる請求プロセスだったんですね。はい。
1:06:17	火曜日の資料提示を、
1:06:21	資料提示はちょっと変わります。ここで言ってる資料4の関係を本文に反映しますって言ってるのはちょっと切り離して、
1:06:30	資料4をどう整理していくかっていうのを考えた上で、資料提出とスケジューリングを考えたいと思う。
1:06:38	はい。
1:06:40	全部使わないとして、とは言ってもあれですよね資料の中でどうやってこう強化すべき、こうこう洗い出すが大事だということについては、これ資料1から3のボックスの説明グループ一応この日、
1:06:57	同じ127日に出しますんで、これでは前回のやりとりを踏まえて評価の項目で足りないところ上げたりとかっていうのをしたものを出しますんでそれを、
1:07:07	僕、金利議論させていただければなど。特に評価が出されるのは木曜日に、
1:07:13	やろうと思ってる
1:07:14	搬送とか、彫像のは崩壊熱とかあの辺のものが、評価としてエントリーするものってのが何なのかってところをちゃんと示せるようにする。
1:07:23	ということで、考えてました。はい。
1:07:27	はい。でしょうか。
1:07:29	なんでもかんじ。
1:07:31	ちょっと最初思っております。はい。はい。
1:07:36	はい。僕も最初は資料4って書いてますけどこの辺は
1:07:42	本当、
1:07:43	はい、そうですね
1:07:45	はい。
1:07:46	はい、どうぞ。はい。
1:07:48	そうですね。はい。午後の予定も繰り上げてできれば、
1:07:56	進め方、会合資料、
1:08:00	はい。
1:08:06	については、リスク量。
1:08:10	前みたいなの、耐震だけで何か言ったような、
1:08:15	今日分けようかなと思ったんですけど前回と同じようにと思って、ただ都築でやる部分もあるような気がするので、

1:08:21	木曜日の残りがあれば、金曜日の方へっていうことでも構わないと。
1:08:27	はい。
1:08:28	はい。
1:08:31	根本的な宿題が多少多かったので、どっちかっていうとあんたたち設計って何かわかってるっていう。
1:08:40	で、
1:08:41	はい。ちゃんと他のいるんだったら、
1:08:45	はい。
1:08:46	あるものになってるか。
1:08:48	10万です。はい。
1:08:50	はい。
1:08:53	確認。
1:08:54	であれば、やっぱり木曜日はやって、
1:08:58	いや、
1:08:59	見て、オガセして、
1:09:01	ここはちょっと議論しましょうかっていうのがあればっていう見える。はい。
1:09:06	どうですかね。はい。
1:09:09	荒川そうですね他の条文と同じレベルにならない。
1:09:16	7日の使用手順対象タテ01だけで、
1:09:22	ちゃんと前、この間もその補足として説明すべきものをちゃんと整理して、
1:09:28	スケジュールつきましようねって言った、踏まえないでも、こっちは間違えているので、出してきました。
1:09:42	はい。
1:09:43	はい。弓削理事長でございます。今日本当はこの辺につけて出したかったんですけど、全然会話が成立せず、
1:09:52	諦めました。
1:09:54	金曜日にはその議論ができるようにします。10日。
1:09:58	それで、
1:10:02	古作です。それで思い出したのは、補足説明資料が評価に寄っちゃって、
1:10:09	設計部分、触れてないそうです。はい。添付では触れてるはずなんですけど、その部分は全く膨らまらず、
1:10:18	評価の部分だけ膨らました補足説明資料になってるっていうのが、今回議論できない。
1:10:24	なんだと思うんで、



1:10:27	お話をした、そのアンカーと1Vの関係とかですね。
1:10:32	そこら辺だって、添付に書いてありますっていう部分。
1:10:36	なんだろうと思うんですよ。
1:10:39	なんですけど、今回そこを持ってきて、
1:10:43	加えてってやってもらわないと話ができない資料提示のされ方が多くて、
1:10:48	そこを認識しながら場合によってはその添付の切り抜きをヒアリング使えますよっていうふうに言っていたでもいいと思うんですけど。
1:11:00	そういうのも含めて、補足があれば、何とかっていう話認識共有しないんですね。はい。
1:11:07	説明すべきなのかみたいに見える。
1:11:10	いうことだと思うんで、
1:11:12	はい、素行を。
1:11:14	最低限現在話をして、次の制度の時に認識を合わせ、
1:11:21	してもらえれば、
1:11:26	はい。
1:11:28	規制強化ですとか規制庁からスケジュールなり、全体。
1:11:33	ですよ。
1:11:34	一応予定したいと思います。はい。
1:11:41	規制庁、荒井です。
1:11:43	来週。
1:11:44	水曜日。
1:11:49	次改造、
1:11:50	作成っていうのは、
1:11:52	ものを反映したか。
1:12:02	はい、日本イシダでございます。24、20、
1:12:05	でやったものも、先ほどの資料に関することも大分入れ込んで、
1:12:14	資料3のが資料3も今の時点で、
1:12:17	反映しないといけないというものは反映をしてタダノ資料3についてはまだ具体的な展開までが十分できてないなど。
1:12:25	いうところは思っているので、
1:12:30	2425の反映をしつつ、資料3はまだ具体化ができてない状態のものが、
1:12:39	今日お出しするものです。
1:12:42	サトウ資料2の一部のところ、
1:12:47	ぐらいのスタッフ。
1:12:48	はい。

1:12:50	問題照らし合わせてみるっていう意味だと。
1:12:53	ものがどうかっていうフェーズでもいいのかなとかかって思ったりはしたんですがはい。とりあえず、別に改良あそこまで、はい。
1:13:02	いいのかなと思ってきた。はい、西尾でございます。はい。そういう意味でおっしゃっていただいている通りだと思います。
1:13:09	逆に言うと、
1:13:12	1回、
1:13:14	資料1から3の中特に3とか2で直しているところのポイントを合わせて、並べてみて、ガイドとどう関係かっていうのを見ようと思えば、
1:13:24	おっしゃって水曜日にやるよりは9日とかに、横に置きながら見てっていう方がわかりやすいと。はい。
1:13:31	はい。
1:13:34	資料3の方にしていますけど、
1:13:36	あれは資料3は
1:13:39	やって欲しいことも、試験は書きましたが、やっぱりどうしてもその概略考え方だけを言っても、やっぱりなかなか理解してもらいたいところが、
1:13:49	あるのが、もうちょっと早いなと思って具体化せんとなって思ってるところです。
1:13:54	コサクです。最初にお話聞いたように、この版はまだ再処理の現場意見を反映していないものっていうことで、
1:14:03	来週前半にその話をされるということなので、その話した内容を、
1:14:09	ヒアリングでお話いただいて、どうしていくつもりなのかっていうことを聞かせてもらう。
1:14:18	なのでその現場の意見とそのヒアリング呉でのやりとり、
1:14:23	いうのを踏まえたリバイスを早くしていただくっていうことだと思うんで、
1:14:28	それがいつぐらいかっていうのを次回示していただけると、
1:14:33	はい。
1:14:35	はい、西田でございますはい。そういう意味でそうですね。はい。ガイドの位置付けと、
1:14:42	ヒアリングの使い方というか、やり方も含めてはい。おっしゃっていただいている通りだと思うんで、
1:14:49	どちらかというと今の現状だと、まだ関西版ではないので、何かのヒアリングの補助として置いてくぐらいの話にしさせていただいて、最初のやつを踏まえてじゃあどう直したのかと。
1:15:02	いうところをいつ出せて、ドイズヒアリングだったところをまたセットさせていただく。
1:15:06	いうことで認識をしました。はい。

1:15:10	はい。
1:15:13	あと、もう、
1:15:14	っていうのはすごい話が戻ってしまうんですけど、今日の資料、別添の2ですか。
1:15:20	はい。
1:15:30	2ポツの(1)
1:15:34	の1の、
1:15:37	Ⅱの中に入れていたら、三つあって、真ん中の、
1:15:40	点なんですけど、
1:15:42	36条。
1:15:44	法人。
1:15:45	どういうものはありますか。
1:15:48	多様性積分悪影響防止環境条件と、
1:15:52	後、表だと、これに加えて、
1:15:56	操作性っていうところだけが充実されて、
1:16:00	例えば個数の話とかあって、前も言った通り、位置的分散とかにかかんないとかっていうところも、
1:16:08	整理が必要なのかなと思ったのでちょっと抜け漏れがないように、
1:16:12	お願いしたいなと思っています。
1:16:14	議事次第でございます。はい。そこは、整理、今回少なくとも、
1:16:19	そうですね。参考でやるときも、無理やりDBとSAの基本設計牛尾何とかはめ込もうとすると、浮いてくるんですけどまず少なくともそのSAでやってる世界が作った資料で、
1:16:33	SAの要求事項をまず抜け漏れなく出すってことが一番大事なことで、
1:16:37	その中では少なくとも個数容量も含めて、
1:16:40	ちゃんとピックアップして何が要求なのかを明確にするということで認識をしてもらいたい。
1:16:51	ああ、大丈夫ですか。
1:16:56	はい、じゃあ、
1:16:58	中国会議。
1:16:59	はい。
1:17:12	出そうとしている。
1:17:19	はい、六ヶ所は出そうと努力している。
1:17:26	じゃウエダしゃべるかな。
1:17:28	はい。
1:17:29	はい。
1:17:30	八木西田でございます。はい。まずは、

1:17:36	2 ポツのところですね審査会合のニューはベッショヒライつけさせていた だいてお話をした最初の設計説明グループの
1:17:46	やつを、あんまり今の時点でということではないと。ですのでその辺とあ とは、解析評価のところはどちらかというところ、目標説明グループ 1 の中 での評価の抜き出しをちゃんとやるということに着目するというこ とで、
1:17:59	12 月 II に、
1:18:03	説明グループの方は最初の説明グループ 1 をやる時に合わせて、どう いうベースなのかというところであわせて説明をさせていただくと。
1:18:11	解析評価の方は、どちらかというところそれやるのであればそれに向けてど ういうステップで、方にやりとりをしていくかというところを明確にして、
1:18:20	資料の提出も含めてスケジュールとさせていただくということで整理を進 めていきたいと思います。
1:18:27	はい。あとは、す。
1:18:30	最初の説明グループ 112 月にエントリーするといつて書いてますけどそ れに向けてどうやっていくのかがまだ書けてないのでそこを明確にさせ ていただくと。
1:18:39	実態の資料を見た上で、どうしていけば、
1:18:43	少なくとも提出も含めたヒアリングにつなげていけるのかということ、 中でちゃんと議論をして、
1:18:49	お示しできるようにさせていただきますということです。
1:18:53	はい。
1:18:54	あとは、3 ポツ 1 であった別添でやった BS への整理はちょっと根本的に ステップを大分飛ばして、ゴールに向かっていってるので、
1:19:05	変なゴールに向かっていっているの、順番に今 SA の整理 D の設計本 部整理ってやってるところを起点にどういうステップでやっていくのかと。
1:19:14	いうことを今一度整理をして、資料をどう徹底してきて、どういう資料を 作ってと、何を明確にするんだということでスケジュールもあわせて、整 理をしていく。
1:19:23	いうことでさせていただければと思います。はい。
1:19:28	はい。
1:19:30	はい、三瓶ナカイクサダセットスポーツミイはですね、(3)の基本地盤モデ ルっての考え方の方針のところ、ここまだちょっと、我々も何をどうい うふうにというのを進めていないんでここを詰めて、
1:19:45	まず資料への範囲ですね対策の 08 の骨格を入れるということ、ちょっ とどこに何をいれてどういうふう整理するかということ、具体化する ということ、止めたいと思ってございます。以上です。

1:19:58	はい。
1:20:03	はい。
1:20:04	はい。古作です。スケジュールは細々としたので、
1:20:09	まず振り返りです。
1:20:11	いいか。
1:20:14	今日議論してないんですけど、ちょっと先走りではあるんですが、龍間キーの資料3は、設計説明分類ごとしていうところで、大体イメージがついていく
1:20:29	思うんですけど、
1:20:31	溢水の方。
1:20:34	設計説明分類だけでは、
1:20:37	或いはその設計説明文の中でなのかもしれないんですけど、少し類型種別整理をしないと、
1:20:45	頭がこんがらがらるかなという気がしていて、具体的には
1:20:51	溢水金、
1:20:54	推計の価格、
1:20:57	とかっていうその種別、
1:20:59	で分けないと。
1:21:01	配管だからこうとかって言われても、
1:21:04	ピンとこないと思うんですよね。
1:21:07	水源としての設計、
1:21:09	経路としての設計とかっていう趣旨がちりばめ回っちゃうと理解しづらくなると思うので、
1:21:17	そういったところで
1:21:19	分類の中での
1:21:22	まとめ方。
1:21:24	ていうのを少し工夫してもらった方がいいかなあと。
1:21:29	いうふうにちょっと思っ
1:21:31	たところ、
1:21:32	ですけど、
1:21:35	ここまでは止まっています。
1:21:41	はい、日本原燃高屋でございます。
1:21:44	正直今まだ今整理中だということなんですが、どうしてもそれぞれで分けてご説明したいところも反面、
1:21:53	水源等経路というところと、対象、守られる被害者なる設備の関連性というところを、
1:22:02	どう示していくかっていうところが、

1:22:05	何半分悩んでるところで、一番全部まとめて、
1:22:09	関連性も含めて説明するのが一番、
1:22:13	説明しやすいのかなというふうには考えていますが、そこら辺も含めてちょっと、
1:22:18	それぞれで設計を説明するのかどうか古作です。それぞれでいいと思うんですけど、関連は結局影響評価、
1:22:27	じゃないとクローズしないんですよ。
1:22:30	なので、
1:22:32	そこはある程度切り分けてもいいだろうと。特に、
1:22:36	今回でさえ、システム設計構造設計配置設計で分けているわけで、はい。
1:22:42	その三つは、BII燃えて本来一緒になって説明なわけですよ。だけど、物量も多いから、
1:22:51	一応セットでは出しているものの、
1:22:53	一つのページでそれを一色じゃないわけですよ。
1:22:56	分けてるんで、その点ではもう割り切って、特にイワタCがお話の構造設計の、
1:23:03	ですから、はい。
1:23:04	そこはある程度のまとまりをもって、あちこちみないとわかんないということじゃなくて、1 政権としてはこれでクローズできるねと。
1:23:14	で、それを踏まえての、
1:23:16	この次の経路の設計だね。
1:23:19	それをつなぐのが配置設計であったり、システム設計であったり、
1:23:23	ということでそれはそっちのページ見ましょう。
1:23:26	ということで、割り切れる。
1:23:30	その点でもシステム設計で何を説明するのか配置設計で何を説明するのかっていうのを頭の整理ですね。
1:23:37	まず最初にすると。はい。いうのが大事じゃない。
1:23:42	はい。日本原燃、高井でございます。ありがとうございます。
1:23:46	そういう意味で、今日出す資料、
1:23:48	へえ。
1:23:49	ところが、しっかり、
1:23:54	まあ、
1:23:56	悩んでるんであればヒアリング
1:23:59	全然、
1:24:00	はい。
1:24:03	本日お出しする資料を踏まえてはい。

1:24:07	考えて欲しい。
1:24:08	はい。
1:24:10	に迎えたときにふっと思うのは、何か評価の方に寄ってないかなっていう、簡単に心配になってくると思います。
1:24:17	これとこれを紐付けてっていうと、結局、
1:24:19	影響評価、
1:24:21	全体の流れを語ってるんで間なくなっちゃうんで。うん。やっぱそこを引っ張ってきて設計としてこのパートで説明することは何。
1:24:29	ないと、無茶苦茶になっちゃうっていう
1:24:35	はい。
1:24:36	衛藤。
1:24:38	不足です。で、先ほどのSd-Dの整理、
1:24:43	の肝になるんですけどその際にここはDBだけです。ここはSLIとセットです。
1:24:48	これ製造技術。
1:24:50	他の条件をこっちはこうで、こっちはこうですっていうのが、ぱっと見ると。
1:24:54	いう古藤がまとめて審査をするポイントかな。
1:24:59	思ってますし、その色づけの違いっていうのが配置設計なりで、この配置だからこうなのねとかっていうのが見え、だからこのルートをこういうふうにとってるねっていうのが見えてこ等、
1:25:13	なるほど。
1:25:18	条件かわからなくなって、
1:25:21	うん。
1:25:22	でもわかりやすくなるんですけど、
1:25:25	井清はどこに行ったらいいかって言った先で、相手がいないっていうことで、陥りそうな気持ちになって、
1:25:32	なので、溢水は、配置設計が一番最初にぐらい。
1:25:39	大事なポイント。
1:25:47	はい。
1:25:48	じゃなければ、

